



**友達との外遊び**

6年 鈴木 獅琉

ぼくには友達がたくさんいて、休み時間は外でおにごっこをして遊んでいます。しかし、夏の気温が高い日は外で遊べません。そんな日は、教室でしゅ味や放課後遊ぶ約束の話をしています。しかし、放課後は習い事の日があるため、決まった曜日しか遊べません。そんな放課後は友達の家でゲームをして遊ぶことが多いです。また、夏休みは外で遊ぶ約束をしました。が、室内で遊ぶことが多くて、外で遊んだのはわずかでした。両親の話の聞くと、子どものころは朝から晩まで外で遊んでおり、日焼けで真っ黒になったそうです。ある日、両親から「友達と外で遊ぶのと、オンラインゲームで遊ぶのはどっちが楽しい」と質問されました。ぼくは「友達と遊ぶなら、外で遊ぶ方が楽しい」と答えました。すると両親は「じゃあ外で遊べばいいじゃない」と話してきました。そこで「外で遊ぶことが少ないんだよ」と伝えました。「私たちが子どもころと違ってびっくりだな」と両親は言いました。改めて両親の時代はすごかったんだなと思いました。ぼくにも外で遊んでくれる

友だちがいます。この前、友だちと外で遊びました。とても楽しくて、いつの間にか30分以上も経っていました。外は暑くて、休けいしたときには汗が目や口に入りそうになってしまいました。その日、公園まで自転車をこいだ時のわくわく感と家に帰るときのさびしさを感じました。とても楽しかったのだなと強く実感しました。外遊びの良いところは健康に良いことです。サッカーやおにごっこを毎日続ければ足も速くなり、運動会で一位をとれるかもしれません。一石二鳥です。これからもたくさんの友だちと外遊びをして、体力を高めていきたいです。そんな友だちを、ずっと大切にしていきたいです。

**体育館のバスケットゴール**

6年 松本 えな



天井を明るくするために、色をグラデーションにしました



市長コラム  
**「価値ある未来を、共に」**



問合せ

政策室

☎982-5112 FAX 981-5392

**子供達との市長キャラバン**

▼吉川市の公園は、整備から30年ほどが経過したものが多く、遊具やベンチなどの劣化が一気に進んでいました。そこで、市長就任後すぐに「公園再生プロジェクト」を立ち上げ、公園の再整備に力を入れてきました。再整備の内容は、関公園や保第3公園のような大規模改修から、永田公園や中曽根公園のような健康遊具設置など、大小さまざまですが、いずれにしても劣化した遊具やベンチなどは早急に撤去しており、今後も順次、既存の公園の充実を図ってゆきます。▼そうした中、夏休みには「インクルーシブ公園をつくるつー」と三輪野江地区に初めて出来る公園を一緒に考えよう」というテーマで、それぞれに「子供達との市長キャラバン」を開催しました。▼「インクルーシブ公園」とは、障害の有無などを越えて、みんなが一緒に楽しく遊べるように、遊具や園内にさまざまな工夫を加えた公園のことであり、この日は、障害のある子も無い子もまた保護者の方も一緒に先進地のインクルーシブ公園を視察し、その後、意見交換を行いました。



インクルーシブ公園などの視察と意見交換



大沢邸跡地などの視察と意見交換

▼「三輪野江地区に初めて出来る公園」とは、「敷地内の木々を活かし、自然を感じる中で、地域の子供達が遊べる場を」という地権者の方のご好意により、元埼玉県知事の大沢 雄一 邸跡地を公園整備するもので、地域の子供達と一緒に現地を視察し、その後、意見交換を行いました。▼それぞれの意見交換では、実際に現場を体験してみて分かったことや、子供達や保護者の視点を踏まえた多くのご意見をいただき、とても有意義な「市長キャラバン」となりました。▼参加くださった皆様のご意見をはじめ、これまでいただいたご意見を踏まえて、「インクルーシブ公園」三輪野江地区公園を整備してゆきます。楽しみにしていってください。